

屋内用 LED 表示ボード

TYPE : VM96F-108TEL

TYPE : VM96F-112TEL

TYPE : VM96F-212TEL

取扱説明書

[ダイジェスト版]

■ お客様へ

このたびは、パトライト製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

- ・ 工事を伴う設置は必ず専門業者へ依頼してください。
- ・ ご使用前に本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ・ 本製品を使用される場合は画面入力ソフトウェア(VM-WinR)が必要です。
- ・ 本製品で使用しているフォントは(株)リムコーポレーション社製のフォントを使用しています。
- ・ 本製品には Windows、日本語入力システムは搭載されていません。
- ・ Windows®、Microsoft®、Internet Explorer™は、米国 Microsoft Corporation の米国および、その他の国における登録商標または商標です。
- ・ 保守・点検や補修などをするときには、必ず本書を読み直してください。なお、ご不明な点は巻末に記載の技術・修理相談窓口へお問い合わせください。
- ・ 詳しい使用方法については、VM-WinR に付属、または当社ホームページよりダウンロードした本体総合マニュアルをご覧ください。

ホームページアドレス | <https://www.patlite.co.jp>

■ 設置、施工、取付業者様へ

- ・ 設置前に本書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
- ・ 本書は必ずお客様にお渡しください。

■目次

| | |
|--------------------------------------|----|
| ■お客様へ | 1 |
| ■設置、施工、取付業者様へ | 1 |
| ■目次 | 2 |
| 1 はじめにお読みください | 3 |
| 1.1 安全に関する表示について | 3 |
| 1.2 安全上のご注意 | 3 |
| 2 内容物 | 6 |
| 2.1 内容物について | 6 |
| 3 型式表示 | 7 |
| 3.1 型式表示について | 7 |
| 4 各部の名称と寸法 | 8 |
| 4.1 各部の名称 | 8 |
| 4.2 各部の寸法 | 9 |
| 5 運転までの手順 | 10 |
| 5.1 運転までの手順について | 10 |
| 6 取付方法 | 11 |
| 6.1 取付方法について | 11 |
| 6.1.1 取付け穴の使用例 | 12 |
| 7 配線方法 | 13 |
| 7.1 対応推奨ケーブルについて | 14 |
| 7.1.1 電源線の配線用推奨ケーブル | 14 |
| 7.1.2 FG 接地線(アース線)の推奨ケーブル | 14 |
| 7.1.3 信号線用端子台用推奨ケーブル | 14 |
| 7.1.4 RS-232C の配線用推奨ケーブル | 14 |
| 7.2 コネクタと信号線用端子台のピンアサイン | 15 |
| 7.2.1 D-SUB9 ピンオスコネクタ | 15 |
| 7.2.2 LAN(RJ-45)コネクタ | 15 |
| 7.2.3 推奨コネクタ、コネクタフード | 15 |
| 7.2.4 信号線用端子台 | 16 |
| 7.3 配線用穴ごとの配線手順 | 17 |
| 7.3.1 上面から配線する場合の手順 | 17 |
| 7.3.2 背面から配線する場合の手順 | 19 |
| 7.4 各インターフェースごとの配線方法 | 21 |
| 7.4.1 電源線の配線 | 21 |
| 7.4.2 FG 接地線(アース線)の配線 | 21 |
| 7.4.3 電源線、FG 接地線へのフェライトコア取付け | 22 |
| 7.4.4 LAN(RJ-45)の配線 | 23 |
| 7.4.5 信号線用端子台の配線 | 24 |
| 7.4.6 RS-422A/485 通信をおこなう場合の配線 | 26 |
| 7.4.7 RS-232C の配線 | 27 |
| 8 使用方法 | 28 |
| 8.1 各スイッチの使用方法 | 28 |
| 8.1.1 CF カードスイッチ | 28 |
| 8.1.2 RS-422A/485 接続時の表示器の設定スイッチ | 31 |
| 8.1.3 通信設定スイッチ(SW1)と終端設定スイッチ(SW2)の設定 | 33 |
| 9 補修パーツ・オプション品 | 34 |
| 9.1 補修パーツ | 34 |
| 9.2 オプション品 | 34 |
| 付録 ネットワークに接続する際にご使用ください | 36 |

1 はじめにお読みください

1.1 安全に関する表示について

- お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しております。

| | |
|--|---|
|  警告 | この表示の欄は、「死亡または重症を負う可能性が想定される内容」を示します。 |
|  注意 | この表示の欄は、「人が障害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容」を示します。 |

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

| | |
|--|----------------------------|
|  禁止 | この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 |
|  強制 | この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。 |
|  注意 | この絵表示は、特定しない一般的な「注意」内容です。 |

1.2 安全上のご注意

| | |  警告 |
|--|--|--|
|  禁止 | <ul style="list-style-type: none">本製品を分解、改造しないでください。電圧の高い部分があり危険です。また、故障の原因となります。不安定な場所に設置しないでください。不安定な場所に設置すると落下してけがの原因となります。水分を多く含んだ布などを使用しないでください。水分が本製品の内部に入った場合、ショートや感電、火災の原因となります。落下させたり、強い衝撃を与えないでください。破損、故障、感電の原因となります。濡れた手で本製品に触れないでください。感電の原因となります。破損しているケーブルを使用しないでください。火災・感電の原因となります。たこ足配線をしないでください。火災やショートの原因となります。 | |
|  強制 | <ul style="list-style-type: none">本製品に関する操作は、本書を熟読し理解した方が作画データの編集、設置、配線、運転などをおこなうようにしてください。間違った方法での設置や画面設定の間違いなどにより死亡、損害、破損、故障、傷害を起こす原因となります。本製品の内部に水や薬品などの異物、また鋼鉄線などの金属の異物が入らないようにしてください。故障や感電の原因となります。電源電圧 AC100Vで使用してください。電源に異なった電圧を加えると、火災や感電の原因となります。必ずFG接地線はD種接地工事をおこなうようにしてください。FG接地線を接続しないと、感電する危険があります。配線時や保守・点検時は、必ず電源を切っておこなってください。ショートによる内部回路の焼損や感電する危険があります。VM-WinR(CD-R)は、パソコン以外では絶対に使用しないでください。大音量によって耳に障害が残ったり、スピーカーが破損する恐れがあります。 | |

 注意

| | |
|---|--|
|  禁止 | <ul style="list-style-type: none">■ 注意事項に反したお取り扱い、改造や天災などによって生じた故障についての保証はできません。また本マニュアルに記載した内容以外でのご使用は避けてください。■ 火気の近くや高温多湿な場所には取り付けないでください。また、腐食性ガスや可燃性ガスが発生するような場所には取り付けないでください。故障の原因となります。■ ゴミやホコリの多い場所には設置しないでください。故障の原因となります。■ 接続したケーブルを強く引っ張らないでください。断線やショートを引き起こす原因となり、接続機器を故障させることができます。■ LAN ケーブルやシリアルケーブルなどの接続したケーブルを使用して、持ち上げたりぶら下げたりしないでください。落下してけがの原因となります。また、接続したコネクタ、端子台、ケーブルの破損や故障の原因となります。■ ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品や化学雑巾などでは拭かないでください。■ スイッチは、大きな力で無理な操作はしないでください。破損や変形により故障の原因となります。また、先端が鋭利なもので操作しないでください。スイッチに傷が付いて操作できなくなったり、接点部の接触に支障をきたす恐れがあります。■ LAN ケーブルや RS-232C ケーブルなどのコネクタ内部のピンには触れないでください。接続不良につながります。 |
|  強制 | <ul style="list-style-type: none">■ 本製品（ソフトウェアを含む）は、人命に関わるような信頼性、安全性を必要とする設備や装置自体、またはその一部としての使用は意図されておりません。これらの設備や装置自体、またはその一部として使用する場合で、本製品（ソフトウェアを含む）の故障や誤動作により人身事故や社会的な損害が生じても、当社では一切その責任を負いません。本製品（ソフトウェアを含む）を使用する場合は、故障や誤動作に対応できるように本製品の外部で安全回路などを設置し使用してください。■ 本製品を長時間使用しない場合は、電源コードを抜き、直射日光の当たらない涼しい場所で保管してください。■ 電源コードを電源コンセントに接続する際は、刃にホコリが付着していないか十分注意して、刃の根元までしっかりと電源コンセントに接続してください。■ 清掃するときは、必ず本製品の電源を OFF にしてからおこなってください。■ 本製品の清掃は、水または中性洗剤を薄めた液を含ませたやわらかい布をよく絞り、軽く拭いてください。特に表示面を強く拭くと傷がつきやすいためご注意ください。■ 設定によっては、一度に大量のデータの送受信をおこなう場合があります。使用している通信回線が対応できるか確認して、本製品を接続してください。■ 電源を入れる前に、配線間違いのないように、ケーブルの種類・端子の接続や機器設定など充分確認をおこなってください。故障の原因となります。■ 作画データ（プロジェクト）は本製品からパソコンへ取り込むことができますが、本製品の破損・故障などに備えて、必ずデータのバックアップを取っておくようにしてください。本製品が破損・故障などした場合、本製品から作画データ（プロジェクト）を取り込むことができないことがあります。 |

 注意

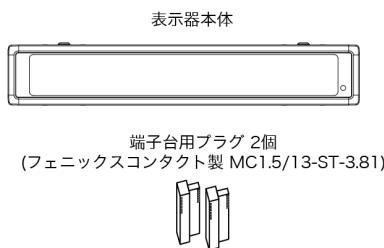
- VM-WinR の作画、設定などのパソコンでの作業は、1 時間の作業につき約 10 分程度の休憩を設ける、軽い体操をおこなうなど、気分転換をはかることを心がけてください。また、目の健康のため、長時間の使用はなるべく避けてください。
- 放送(ラジオ、テレビ、有線放送など)を通じて知り得た情報については、ニュース、天気予報など一般向けに事実を伝達するために公開されたもの以外は利用の制限を受けることがあります。不明な点は、事前に利用先に問い合わせるなど、法律的な問題が生じないよう十分な配慮をお願い致します。
- 本製品の電源を初めて入れる際、バックアップ用のバッテリーが、満充電となるには 24 時間以上必要です。時計データのバックアップは、満充電後約 1 ヶ月程度可能です。
- 本マニュアルの著作権は、株式会社パトライ特が所有しています。
- 著作権の対象となっている書籍、絵画、写真、音楽などの著作物は、家庭内その他これに準じる限られた範囲内で利用する以外は権利者に無断で利用することはできません。
- 本製品は、DHCP による IP アドレス自動割当には対応しておりません。本製品の IP アドレス変更は、本製品を設置する前に必ずおこなってください。
☞IP アドレス変更の手順は、WEB および VM-WinR に付属している本体総合マニュアルの第 6 章「データを転送する」に記載しています。
- 本製品単独でパソコンと LAN で接続し、本製品の IP アドレス変更をした後に、ネットワーク上に本製品を接続してください。ネットワークに本製品を接続後、同一ネットワーク上にあるパソコンから ping などの接続確認で表示器の接続を確認したうえで、設置するようにしてください。
☞本製品の接続確認方法の手順は、WEB および VM-WinR に付属している本体総合マニュアルの第 6 章「データを転送する」に記載しています。
- 本製品の修理のために生じる本製品の取付け、取外し工事などの付帯費用についてでは、保証期間中であっても当社はその費用を負担しませんので、あらかじめご了承ください。



2 内容物

2.1 内容物について

- ・本製品や画面入力ソフトウェアには次のものが含まれています。製品の梱包には万全を期していますが、万一欠品などありましたら、本製品を購入いただいた販売店または設置いただいた業者様へご連絡ください。



グロメット 4個
(竹内工業製 TFT-274015S)

端子台取り外し金具



フェライトコア 1個
(竹内工業製 TFT-274015S)



本書

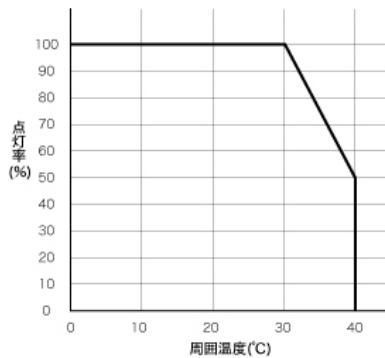
取扱説明書
(ダイジェスト版)

プラスチッククリップ 8個 M6×15十字穴付きネジ 8個



⚠ 注意

- 30°C以上の環境で本製品を使用する場合、点灯率 100%(表示面のすべてを橙表示)の状態で長時間本製品を稼動すると、本製品が破損する恐れがあります。30°C以上の環境で使用する場合は下表の最大点灯率を超えないように考慮して、表示内容を画面入力ソフトウェアにて作成してください。



3 型式表示

3.1 型式表示について

V M 9 6 F - □□□ T E L

段・文字数

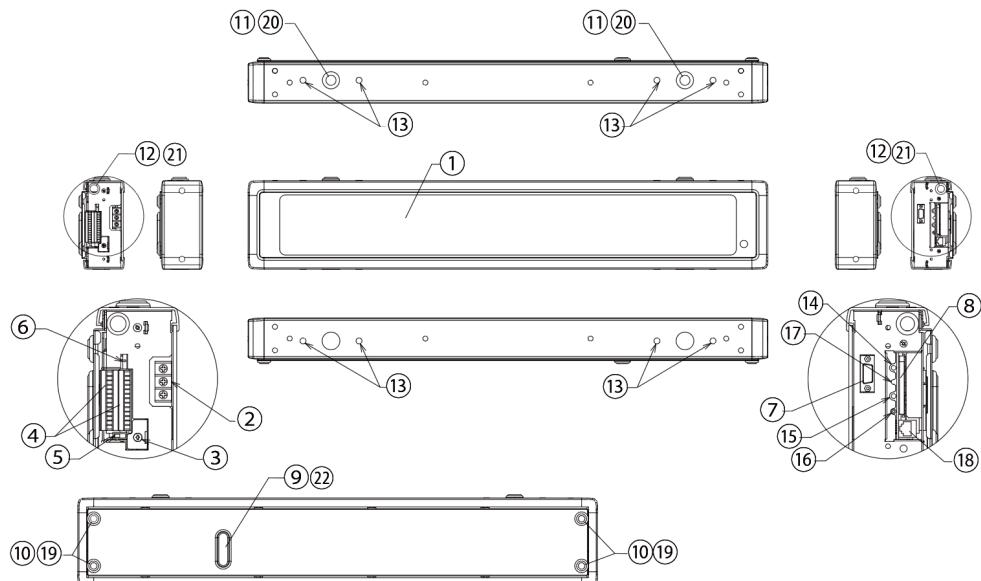
108 : 1段8文字

112 : 1段12文字

212 : 2段12文字

4 各部の名称と寸法

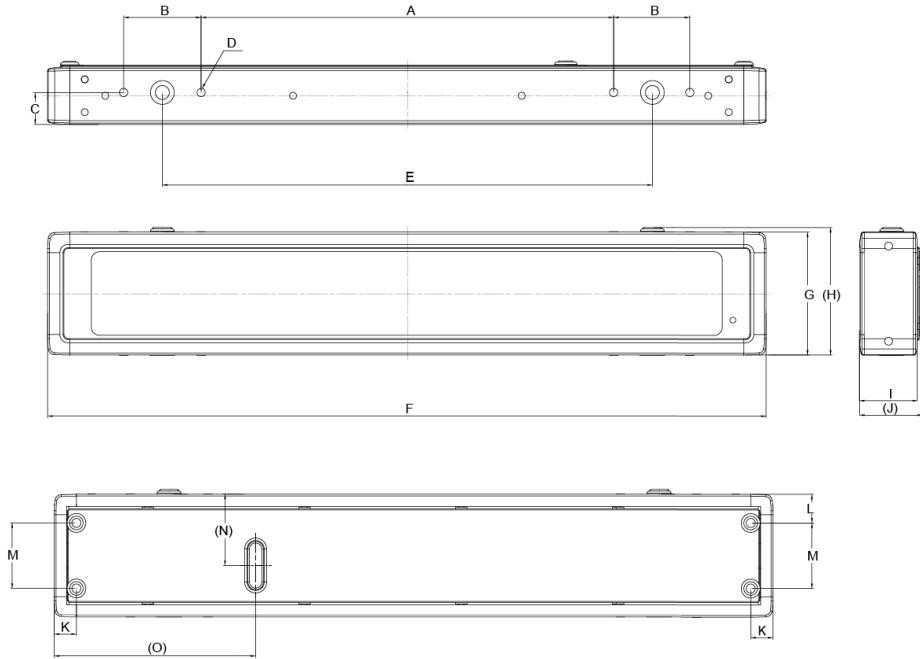
4.1 各部の名称



| 名称 | 働き |
|------------------|--|
| ① 表示部 | LED ドットマトリクス表示 |
| ② 電源用端子台 | 電源(AC100V)を供給するために使用 |
| ③ 接地用端子 | フレームグランドの端子 |
| ④ 信号線用端子台 | RS-422A/RS-485 通信、接点入力、ダイレクト出力時に使用 |
| ⑤ 終端設定スイッチ | RS-422A/RS-485 通信時の終端抵抗の有/無を設定(SW2) |
| ⑥ 通信設定スイッチ | RS-422A 通信と RS-485 通信を切替えるスイッチ(SW1) |
| ⑦ RS-232C コネクタ | RS-232C 通信時に使用する D-SUB9 ピンオオスコネクタ |
| ⑧ CF カード挿入口 | CF カードを挿入する口 |
| ⑨ 設定スイッチ | IDなどを設定するスイッチ |
| ⑩ 背面ケーブル取り出し口 | |
| ⑪ 上面ケーブル取り出し口 | 電源・通信用ケーブルの取り出し口 |
| ⑫ 内部ケーブル取り出し口 | |
| ⑬ 取付穴 | 表示器を取付ける際の穴 ※金具を取付けるネジは必ず付属品のネジ(M6×15)8本を使用してください。使用しない場合は付属のブラッシュクリップをつけてください。 |
| ⑭ スイッチ黒 | CF カード操作用のスイッチ |
| ⑮ スイッチ赤 | |
| ⑯ リセットスイッチ | システム用のリセットスイッチ |
| ⑰ 状態確認 LED | CF カードの状態を確認するための LED |
| ⑱ LAN(RJ-45)コネクタ | LAN 通信時に使用する LAN(RJ-45)コネクタ |

| | | |
|---|----------------------------|---|
| ⑯ | 目隠しキャップ(背面用) グロメット(背面用) | 目隠しキャップ(背面用)は製品出荷時に装着されています ※ケーブル配線時は、目隠しキャップ(背面用)を取り外して、同梱 しているグロメット(背面用)にケーブルを通したのちに接続し てください。 |
| ⑰ | グロメット(上面用) | ケーブル配線時に使用 |
| ⑱ | グロメット(内部用) | 通線孔にケーブルを通す際に使用 |
| ⑲ | グロメット(設定スイッチ用) | 設定スイッチ変更時のみ取り外して使用 |

4.2 各部の寸法



| 機種(単位 : mm) | 寸法 A | 寸法 B | 寸法 C | 寸法 D | 寸法 E | 寸法 F | 寸法 G | 寸法 H |
|--------------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| VM96F-108TEL | 505 | 95 | 39 | M6 | 600 | 880 | 150 | (156) |
| VM96F-112TEL | 889 | 95 | 39 | M6 | 984 | 1264 | 150 | (156) |
| VM96F-212TEL | 889 | 95 | 39 | M6 | 984 | 1264 | 246 | (252) |

| 機種(単位 : mm) | 寸法 I | 寸法 J | 寸法 K | 寸法 L | 寸法 M | 寸法 N | 寸法 O |
|--------------|------|------|------|------|------|------|-------|
| VM96F-108TEL | 72 | (77) | 27 | 35 | 80 | (87) | (246) |
| VM96F-112TEL | 72 | (77) | 27 | 35 | 80 | (87) | (246) |
| VM96F-212TEL | 72 | (77) | 27 | 35 | 80 | (87) | (246) |

5 運転までの手順

5.1 運転までの手順について

- ・本製品を動作させるには表示方法を理解し、表示する文字などを画面入力ソフトウェア(VM-WinR)で作成後にデータのダウンロード・配線などさまざまなことをおこなう必要があります。下記手順どおりおこなえば、スムーズに運転を始めるすることができます。

| 手順 | 運転までの手順 | 詳細 |
|------|---|---|
| 手順 1 | <ul style="list-style-type: none">■ 使用モード決定<ul style="list-style-type: none">・ 使用する制御方法により、使用するモードを決定する。 | WEB および VM-WinR に付属している 本体総合マニュアルの第 2 章「運転方法」に記載しています。 |
| 手順 2 | <ul style="list-style-type: none">■ VM-WinR をインストール<ul style="list-style-type: none">・ VM-WinR をパソコンのハードディスクにインストールする。 | WEB および VM-WinR に付属している 本体総合マニュアルの第 4 章「VM-WinR で基本データを作る」に記載しています。 |
| 手順 3 | <ul style="list-style-type: none">■ データ作成<ul style="list-style-type: none">・ 選択したモードに合ったデータを画面入力ソフトウェアで作成する。 | WEB および VM-WinR に付属している 本体総合マニュアルの第 4 章「VM-WinR で基本データを作る」に記載しています。 |
| 手順 4 | <ul style="list-style-type: none">■ 転送<ul style="list-style-type: none">・ 画面入力ソフトウェアで作成したデータを本製品に転送する。 | WEB および VM-WinR に付属している 本体総合マニュアルの第 6 章「データを転送する」に記載しています。 |
| 手順 5 | <ul style="list-style-type: none">■ ケーブル取り出し口を決定<ul style="list-style-type: none">・ 本製品内部からケーブルを取り出す場所と通し方を決定し、ケーブルを通す。 | WEB および VM-WinR に付属している 本体総合マニュアルの第 1 章「表示器の仕様と配線」に記載しています。 |
| 手順 6 | <ul style="list-style-type: none">■ 配線<ul style="list-style-type: none">・ 使用する本製品内の端子と接続する機器とを配線する。 | WEB および VM-WinR に付属している 本体総合マニュアルの第 1 章「表示器の仕様と配線」に記載しています。 |
| 手順 7 | <ul style="list-style-type: none">■ 画面状態の確認<ul style="list-style-type: none">・ 画面入力ソフトウェアで作成したデータを本製品に表示する方法の確認と動作の確認をする。 | WEB および VM-WinR に付属している 本体総合マニュアルの第 7 章「各モードの表示方法及び通信プロトコル」に記載しています。 |
| 手順 8 | <ul style="list-style-type: none">■ 設置<ul style="list-style-type: none">・ 設置方法を確認し、注意事項に気を付け本製品を設置する。 | WEB および VM-WinR に付属している 本体総合マニュアルの第 1 章「表示器の仕様と配線」に記載しています。 |



注意



- ダウンロード：「画面入力ソフトウェアで作成したデータを本製品に転送する」という意味で使用しています。
- アップロード：「本製品に保存しているデータを画面入力ソフトウェアに転送する」という意味で使用しています。

6 取付方法

6.1 取付方法について

|  警告 | |
|--|--|
|  強制 | <ul style="list-style-type: none">■ 本製品を壁などに取り付ける場合は、専門的な技術と経験が必要です。壁面や天井に取り付ける場合は、設置工事の専門家などにご相談のうえ、本製品の重量に耐えられる強度を確保して設置してください。本製品が落下し、死亡、損害、破損、故障、傷害を起こす原因となります。■ 本製品を設置する場所の躯体構造をよく確認し、強度不足の場合は補強用下地材を用い、充分な設置強度を確保してください。外観が一見強固であっても、接着工法や生地が発泡コンクリートなどで非常に弱い場合があります。また建設物が新設、既設により設置面の強度が異なる場合がありますので注意してください。強度不足の場合、本製品本体、部品の落下、脱落の原因となり重大な事故になる可能性があります。■ 本製品を高所に取付け強風を受ける恐れがある場合は、万一の落下、脱落に備え充分な補強を施してください。■ 設置後、落下・脱落の恐れがないか再度確認するようにしてください。正しく設置できていることを確認した後に電源を投入してください。 |

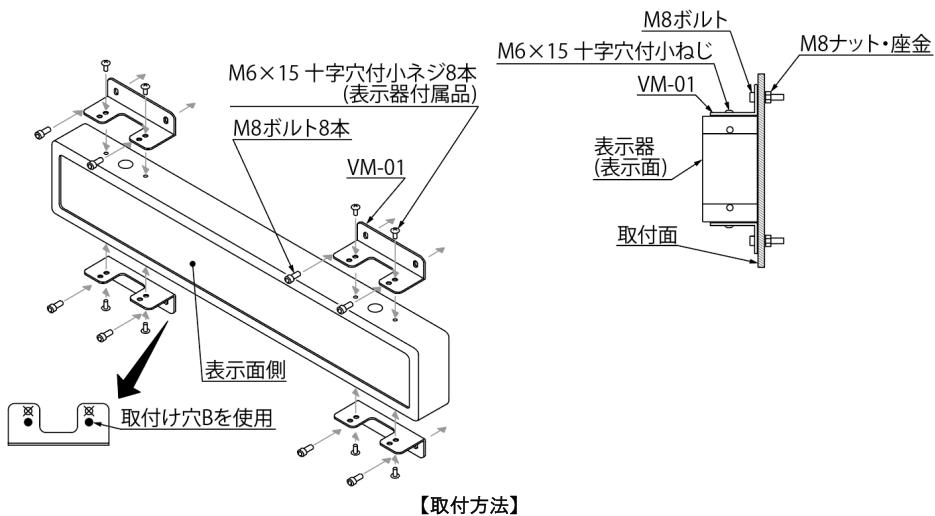
|  注意 | |
|--|---|
|  禁止 | <ul style="list-style-type: none">■ 本製品を設置する場合、次の場所を避けてください。<ul style="list-style-type: none">・直射日光の当たる場所・火気の近くや高温多湿な場所・温度変化が激しく、結露するような場所・通気性、換気性が悪い場所・本製品に振動が直接伝わるような場所・腐食性ガスが発生するような場所・潮風にさらされるような場所・強磁界が発生する物体の近く・じんあい、鉄粉などが多く発生する場所・薬品、オイルミストが多く発生する場所・雨、水のかかる場所 |
|  強制 | <ul style="list-style-type: none">■ 本製品は重いので設置作業は安全のため 2人以上でおこなってください。■ ノイズの発生する環境下では表示がちらつくまたはノイズの影響により通信不可となることがあります。ノイズ対策をおこなってください。 |

|  注意 | |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none">■ 本製品は商工業地域で使用されるべきものです。住宅地域またはその隣接した地域で使用するとラジオ、テレビジョン受信機などに受信障害を与えることがあります。■ 一般道路や公共エリアに設置する場合は、法律や規則に基づき、管理者の許可を得るなどが必要です。<ul style="list-style-type: none">・道路法第 32 条(道路の占有の許可)・道路交通法第 77 条(道路の使用の許可)・消防関係法規・著作権法 |

6.1.1 取付け穴の使用例

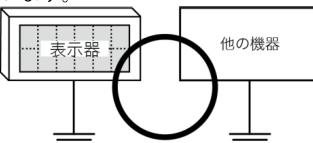
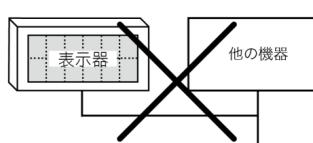
注意

- 金具は本製品に同梱しておりません。VM96A型対応金具 VM-01(別売)をご用意ください。
- 設置用の取付け穴が本製品の上面・底面合計 8箇所あります。強度不足とならないように、設置してください。下図は取付方法の一例です。取付方法の詳しい詳細は、VM-01(別売)に同梱している取扱説明書をご確認ください。
- 製品背面側からケーブルを引き出す場合は、ケーブルにストレスが加わらないよう、製品背面に空間を設けて設置してください。
- M6×15 十字穴付小ねじの推奨締め付けトルクは、4.8N·m です。
- 壁面以外への取付けに必要な金具は、オプション品や推奨品はありませんので、お客様でご準備いただきますようお願いいたします。



【取付方法】

7 配線方法

| 警告 | |
|----|--|
| 禁止 | <ul style="list-style-type: none">■ FG は耐ノイズ強化、電撃防止、感電防止などに使用します。配線時は必ず単独で D 種接地工事をおこなってください。接地線を他の機器と共有したり、建物の梁に接続したりすると逆効果となり悪影響を受ける恐れがあります。また、ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。法令で禁止されています。   |
| 強制 | <ul style="list-style-type: none">■ 配線は必ず電源を切った状態でおこなってください。火災、故障、感電の原因となります。■ 配線間違いのないように充分確認をおこなってください。火災、故障、感電の原因となります。■ 信号線側に AC100V を接続しないでください。火災や故障の原因となります。■ 配線終了後は必ずサイドカバーおよび端子台のカバーを取り付けてください。異物が入り感電、ショートとなる恐れがあります。■ LAN ポートやコネクタの端子部に指などの異物を入れないでください。故障や感電の原因となります。 |
| 注意 | |
| 禁止 | <ul style="list-style-type: none">■ シリアルケーブルと LAN ケーブルの両方を接続している場合は、LAN 通信が優先されます。シリアル通信と LAN 通信を両方同時に使用することはできません。 |
| 強制 | <ul style="list-style-type: none">■ 通常の運転を開始する前に必ず誤動作がないか動作の確認をおこなってください。配線が正しくても画面入力ソフトウェアで設定間違いがあれば本製品は正常に動作しません。■ 端子台取り外し金具は紛失しないように大切に保管してください。■ ケーブルを引っぱらないようにしてください。断線となり通信が不安定になる、通信できなくなるなどの原因になります。■ 設定によっては、一度に大量のデータの送受信をおこなう場合があります。使用している通信回線が対応できるか確認して、本製品を接続してください。■ 本製品とネットワークを接続するケーブルは、カテゴリ-5 以上の UTP ケーブルを使用してください。■ 本製品とコンピュータを直接接続する場合は、クロスケーブルを使用してください。HUB などと接続する場合は、ストレートケーブルを使用してください。■ LAN ケーブルが 100m 未満になるようにしてください。■ RS-232C ケーブルは、10m 以下になるようにしてください。■ RS-422A/485 ケーブルは、500m 以下になるようにしてください。 |

7.1 対応推奨ケーブルについて

7.1.1 電源線の配線用推奨ケーブル

| 項目 | 内容 |
|-----|--|
| 電源線 | <p>断面積 0.75mm²以上のものを使用してください。</p> <p>※入力電源に外部ノイズが印加される環境で本製品を使用した場合、外部ノイズの影響で、画面のちらつきなど表示品位が低下する場合があります。必ず、電源線と FG 接地線を付属品のフェライトコアに、1~5 回程度巻きつけてください。表示品位が改善する場合があります。</p> <p>(付属フェライトコア：竹内工業製 TFT-274015S)</p> |

7.1.2 FG 接地線(アース線)の推奨ケーブル

| 項目 | 内容 |
|--------|---|
| FG 接地線 | 単心のケーブルを接地線にする場合 断面積が 1.25mm ² 以上の単心コードまたは単心キャブタイヤケーブルを使用してください。 |
| | 多心のケーブルを接地線にする場合 断面積が 0.75mm ² 以上の多心コード(より合わせコードを除く。) または多心キャブタイヤケーブルの線心の 1 心を使用してください。 |

7.1.3 信号線用端子台用推奨ケーブル

| 項目 | 内容 |
|------|-------------------------------------|
| ケーブル | 配線可能ケーブル径 : 0.14~1.5mm ² |

7.1.4 RS-232C の配線用推奨ケーブル

| 項目 | 内容 |
|------|-------------------------------------|
| ケーブル | 配線可能ケーブル径 : 0.14~1.5mm ² |

7.2 コネクタと信号線用端子台のピンアサイン

7.2.1 D-SUB9 ピンオスコネクタ

| ピン No. | 信号名 | 機能 |
|--------|-----|-----------------|
| 1 | - | 未使用 |
| 2 | RxD | RS-232C 受信データ信号 |
| 3 | TxD | RS-232C 送信データ信号 |
| 4 | - | 未使用 |
| 5 | SG | RS-232C 信号用接地 |
| 6 | - | 未使用 |
| 7 | RTS | RS-232C 送信要求信号 |
| 8 | CTS | RS-232C 送信可能信号 |
| 9 | - | 未使用 |

7.2.2 LAN(RJ-45)コネクタ

| ピン No. | 信号名 | 機能 |
|--------|---------|------------|
| 1 | TD+(送信) | 送信データ信号(+) |
| 2 | TD-(送信) | 送信データ信号(-) |
| 3 | RD+(受信) | 受信データ信号(+) |
| 4 | 未使用 | 未使用 |
| 5 | 未使用 | 未使用 |
| 6 | RD-(受信) | 受信データ信号(-) |
| 7 | 未使用 | 未使用 |
| 8 | 未使用 | 未使用 |

7.2.3 推奨コネクタ、コネクタフード

| 項目 | 内容 |
|---------|---|
| コネクタ | オムロン社製 形 XM2D ソケット・ソルダーカップ端子 XM3D-0921 |
| コネクタフード | オムロン社製 D-SUB コネクタフード XM2S-0923 |

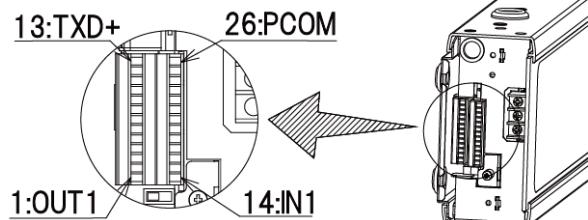
7.2.4 信号線用端子台

左側配列(背面側)

| 端子 No | 信号名 | 機能 |
|-------|------|-----------------------------|
| 13 | TXD+ | RS-422A 送信データ(+) |
| 12 | TXD- | RS-422A 送信データ(-) |
| 11 | RXD- | RS-422A/RS-485 受信データ(-) |
| 10 | RXD+ | RS-422A/RS-485 受信データ(+) |
| 9 | NCOM | ダイレクト出力用 COMMON(-) |
| 8 | OUT8 | |
| 7 | OUT7 | |
| 6 | OUT6 | |
| 5 | OUT5 | ダイレクト出力 1~8 IL=100mA MAX |
| 4 | OUT4 | |
| 3 | OUT3 | |
| 2 | OUT2 | |
| 1 | OUT1 | |

右側配列(正面側)

| 端子 No | 信号名 | 機能 |
|-------|------|-----------------------|
| 26 | PCOM | 信号入力端子用 DC12~24V 供給端子 |
| 25 | N.C | 未使用 |
| 24 | IN11 | |
| 23 | IN10 | |
| 22 | IN9 | |
| 21 | IN8 | |
| 20 | IN7 | |
| 19 | IN6 | 信号入力用端子 1~11 |
| 18 | IN5 | |
| 17 | IN4 | |
| 16 | IN3 | |
| 15 | IN2 | |
| 14 | IN1 | |



7.3 配線用穴ごとの配線手順

⚠ 警告



- 本製品内部に通線するときは、グロメット(上面用、背面用、内部用)のつけ忘れがないようにしてください。感電や故障の原因となります。

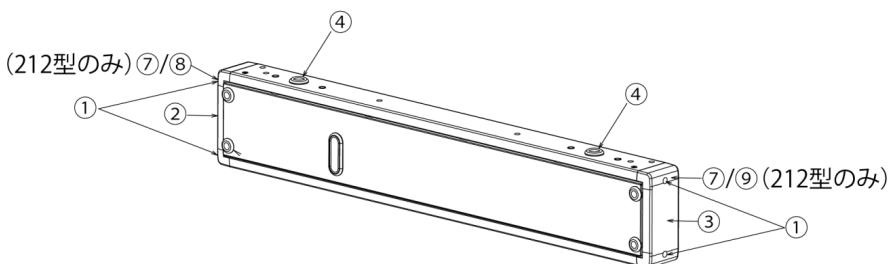
⚠ 注意



- LAN通信とシリアル通信(RS-232C、RS-422A/485)は同時に使用できません。
- RS-422A/485、接点入力/出力、電源線のすべてを使用されるお客様は、上面および背面の両方を使用して配線をおこなってください。
- サイドカバーのネジを取り付ける際は、0.7N·m 以上の締付トルクをかけないでください。

7.3.1 上面から配線する場合の手順

| ケーブルの種類 | LAN ケーブル | RS-232C | RS-422A/485 | 接点入力/出力 | 電源線 |
|---------|----------------------------|---|----------------------------|---------|-----|
| 手順 1 | 背面から見て 左側面のサイドカバーを取り外す。 | | 背面から見て 右側面のサイドカバーを取り外す。 | | |
| 手順 2 | | グロメット(上面用)を外してグロメット(上面用)に穴を開ける。 | | | |
| 手順 3 | | グロメット(上面用)に線をとおして、グロメット(上面用)をはめなおす。 | | | |
| 手順 4 | | | グロメット(内部用)を外す。 | | |
| 手順 5 | | 通線孔に線をとおして、グロメット(内部用)に線をとおした後、グロメット(内部用)をはめなおす。 | | | |
| 手順 6 | LAN コネクタに LAN ケーブルを挿入 | 配線 | 配線 | 配線 | 配線 |
| 手順 7 | | サイドカバーを取り付ける。 | | | |



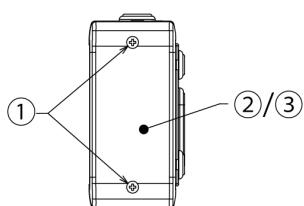
【本製品背面】

■手順1 補足

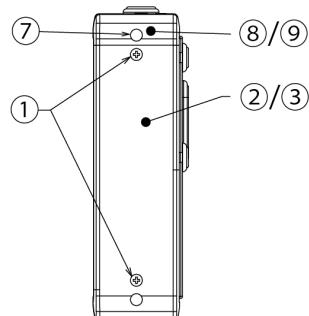
- ・背面から見て、左/右側面①のネジ2箇所を外し、②/③のサイドカバーを外します。
この際、ネジ(108/112型は、M4-8 バインド小ネジ、212型は、M4-42 盤小ネジ)の紛失にご注意ください。

[212型のみ]

作業がおこないにくい場合は、⑦M4-8 バインド小ネジ1箇所を外し、⑧/⑨のコーナーを外してください。



【側面拡大図 108/112型の場合】

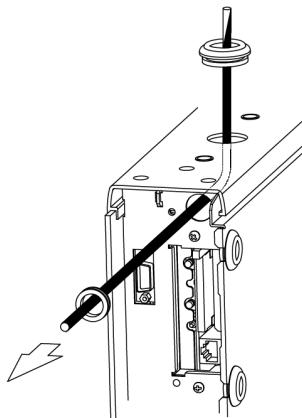


【側面拡大図 212型の場合】

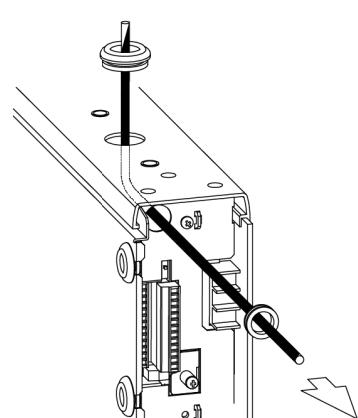
■手順2 補足

- ・④のグロメット(上面用)を手で取り外し、ニッパーなどでケーブルが通る穴を開けてください。

■手順3～5 補足



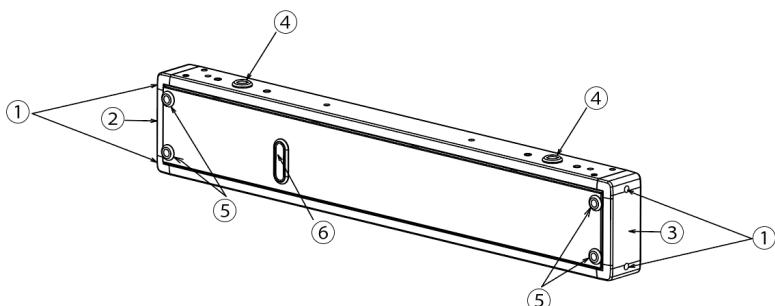
【背面から見て左側侧面図】



【背面から見て右側侧面図】

7.3.2 背面から配線する場合の手順

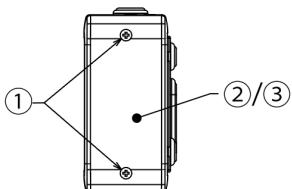
| ケーブルの種類 | LAN ケーブル | RS-232C | RS-422A/485 | 接点入力/出力 | 電源線 |
|---------|----------------------------|------------------------------------|----------------------------|---------|-----|
| 手順 1 | 背面から見て 左側面のサイドカバーを取り外す。 | | 背面から見て 右側面のサイドカバーを取り外す。 | | |
| 手順 2 | | 目隠しキャップ(背面用)を取り外す。 | | | |
| 手順 3 | | 同梱しているグロメット(背面用)に穴をあける。 | | | |
| 手順 4 | | グロメット(背面用)に線をとおして、グロメット(背面用)を装着する。 | | | |
| 手順 5 | LAN コネクタに LAN ケーブルを挿入 | 配線 | 配線 | 配線 | 配線 |
| 手順 6 | | サイドカバーを取り付ける。 | | | |



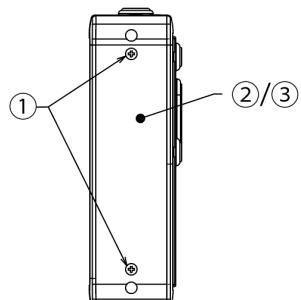
【本製品背面】

■手順 1 補足

- ・背面から見て、左/右側面①のネジ 2箇所を外し、②/③のサイドカバーを外します。
この際、ネジ(108/112型は、M4-8 バインド小ネジ、212型は、M4-42 盔小ネジ)の紛失にご注意ください。



【側面拡大図 108/112 型の場合】



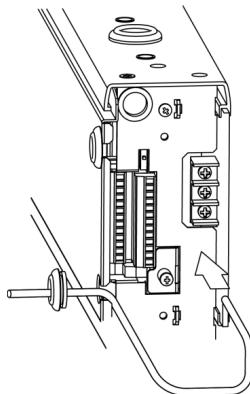
【側面拡大図 212 型の場合】

■手順 2、3 補足

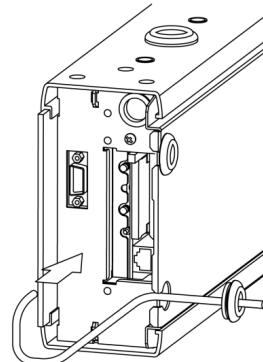
- ・出荷時に⑤に装着されている目隠しキャップ(背面用)を取り外します。その後、同梱しているグロメット(背面用)にニッパーなどでケーブルが通る穴をあけてください。

■手順 4 補足

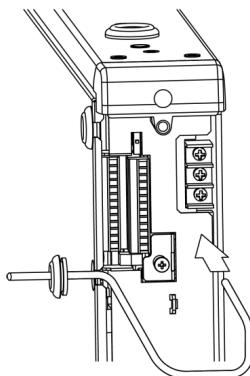
- ・グロメット(背面用)は⑤に装着します。



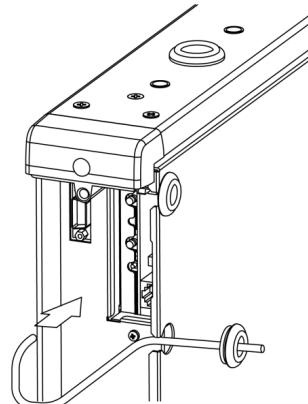
【背面から見て右側侧面図 108/112 型の場合】



【背面から見て左側侧面図 108/112 型の場合】



【背面から見て右側侧面図 212 型の場合】



【背面から見て左側侧面図 212 型の場合】

7.4 各インターフェースごとの配線方法

7.4.1 電源線の配線

⚠ 注意

- 電源線への端子の圧着作業は、本製品内部に通線した後におこなってください。通線前に圧着をしてしまうと、本製品内部から電源線を取り出すことができなくなります。
- 端子台ネジに 1.0N·m 以上の締付トルクをかけないでください。端子台破損の原因となります。
- 圧着端子は下図の圧着端子図を参考に丸型タイプをご使用ください。Y型では確実な取付けをおこなうことができません。
- 端子台の各端子上に透明のカバーがついていますので外してから配線してください。また、配線が終了しましたら再度元通りにカバーを装着してください。

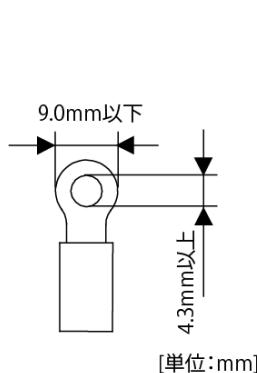
☞ 本製品内部の配線については、7.3「配線用穴ごとの配線手順」をご確認ください。

7.4.2 FG 接地線(アース線)の配線

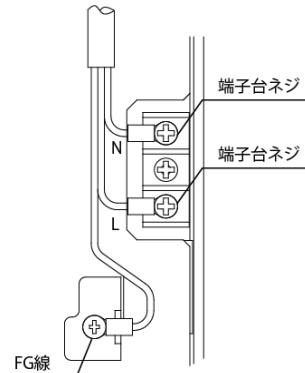
⚠ 注意

- FG 接地線への端子の圧着作業は、本製品内部に通線した後におこなってください。通線前に圧着をしてしまうと、本製品内部から FG 接地線を取り出すことができなくなります。
- 端子台ネジに 1.0N·m 以上の締付トルクをかけないでください。端子台破損の原因となります。
- 圧着端子は下図の圧着端子図を参考に丸型タイプをご使用ください。Y型では確実な取付けをおこなうことができません。
- 配線後に接続箇所に違いがないか再度確認するようにしてください。

☞ 本製品内部の配線については、7.3「配線用穴ごとの配線手順」をご確認ください。



【圧着端子寸法図】

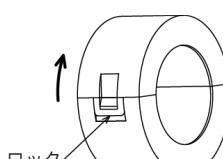
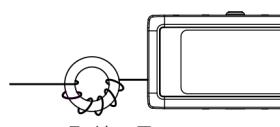


【電源線、FG 線配線図】

7.4.3 電源線、FG 接地線へのフェライトコア取付け

■入力電源に外部ノイズが印加される環境で本製品を使用した場合、外部ノイズ等の影響で、画面がちらつく等、表示品位が低下する場合があります。必ず、電源線と FG 接地線を付属品のフェライトコアに、1~5 回程度巻きつけてください。表示品位が改善する場合があります。
(付属フェライトコア：竹内工業製 TFT-274015S)

| ⚠ 注意 | |
|------|--|
| ⚠ | <ul style="list-style-type: none">■ フェライトコア取扱いの際は、フェライトコアを落させないでください。 フェライトコア破損の恐れがあります。■ フェライトコアの樹脂ケース勘合時、電源線と FG 接地線を挟み込まないように注意してください。 |

| フェライトコアの取付け手順 | |
|---------------|--|
| 手順 1 | <ul style="list-style-type: none">■ フェライトコアのロックを外して、フェライトコアの樹脂ケースを開きます。  |
| 手順 2 | <ul style="list-style-type: none">■ フェライトコアに電源線、FG 接地線を 1~5 回程度巻きつけて、フェライトコアの樹脂ケースを閉じます。 <p>※フェライトコアは、本製品にできるだけ近い場所に取り付けて、電源線と FG 接地線の巻きつけ回数を多くすることで、表示品位改善の効果が期待できます。</p>  |

7.4.4 LAN(RJ-45)の配線

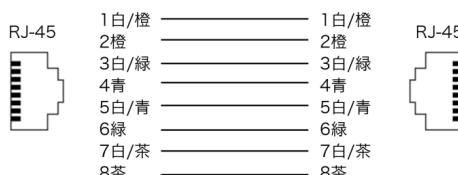
注意



- LAN コネクタへの圧着作業は、本製品内部に通線した後におこなってください。
通線前に圧着をしてしまうと、本製品内部から LAN ケーブルを取り出すことができなくなります。

7.4.4.1 ストレートケーブルの配線

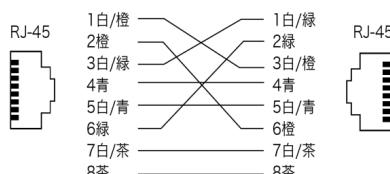
- ・本製品と HUB/ルーターなどを接続する場合はストレート配線を使用してください。
- ・LAN ケーブルは市販のストレートケーブルも使用できます。
- ・配線色については、「1 白/橙」と「3 白/緑」および「2 橙」と「6 緑」が両コネクタともそれぞれ入れ替わって配線されているケーブルもあります。



【ストレートケーブルの配線図】

7.4.4.2 クロスケーブルの配線

- ・本製品とパソコンを直接接続する場合はクロス配線を使用してください。
- ・LAN ケーブルは市販のクロスケーブルも使用できます。



【クロスケーブルの配線図】

7.4.5 信号線用端子台の配線



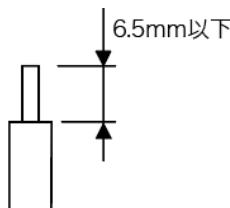
注意



- 端子ネジに 0.25N·m 以上の締付トルクをかけないでください。端子破損の原因となります。
- 工具は刃先 2.7mm 以下のマイナスドライバーを使用してください。

7.4.5.1 ケーブル外装被覆のストリップ寸法

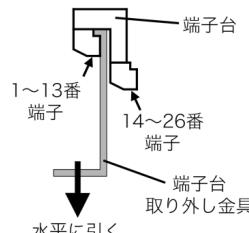
- 下図を参照にケーブルの外装被覆をストリップし、端子台に差し込んで端子ネジを締めてください。



【ケーブル外装被覆のストリップ寸法図】

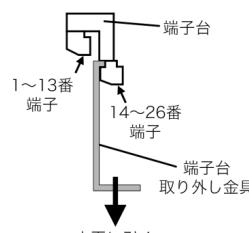
7.4.5.2 脱着式端子台について

- 端子台用プラグは、同梱品となります。信号線用端子台は脱着式ですので、配線は端子台用プラグを外した状態でおこなってください。また、接続後に端子台を外す際に手で外しにくい場合には本製品に付属している端子台取り外し金具をお使いください。



【端子台取り外し金具を用いた外しかた(1~13番端子)】

※取り外し時端子台を上面から見た図



【端子台取り外し金具を用いた外しかた(14~26番端子)】

※取り外し時端子台を上面から見た図

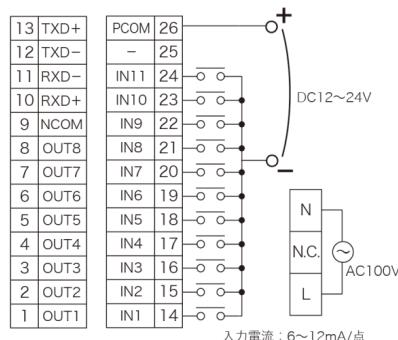
7.4.5.3 接点入力/出力配線



■ オープンコレクタ回路 ON 時の残留電圧(約 1V)にご注意ください。

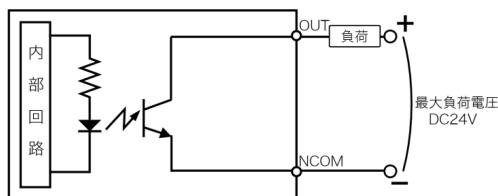
① 10 シーンモード、500 シーンモードの場合(信号入力用端子)の配線

- ・端子 No.1~9 はダイレクト出力に使用します。
- ・端子 No.10~13 は RS-422A/485 通信で使用します。

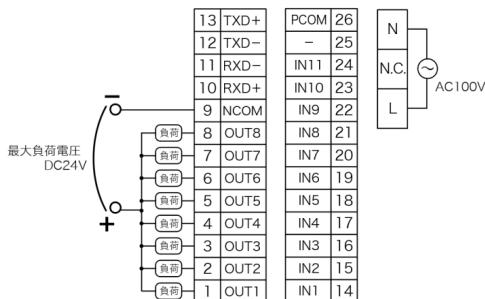


【10 シーンモード、500 シーンモードの場合(信号入力用端子)の配線図】

② ダイレクト出力の回路・配線方法



【ダイレクト出力回路構成(OUT1~OUT8)】



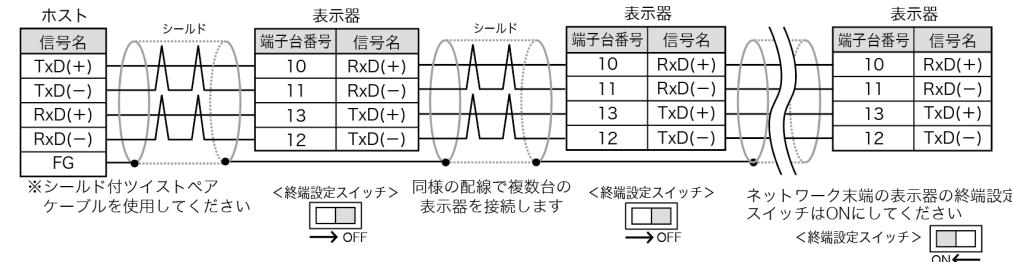
【ダイレクト出力配線図】

7.4.6 RS-422A/485 通信をおこなう場合の配線

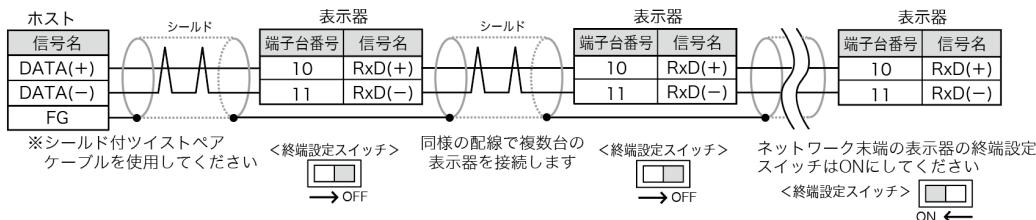


- 複数台の表示器を接続する場合は、末端の表示器の終端設定スイッチを ON にしてください。
- RS-422A/485 コネクタのケーブルへの配線作業は、本製品内部に通線した後におこなってください。通線前に配線をしてしまうと、本製品内部に通すことはできません。

7.4.6.1 RS-422A 通信をおこなう場合の配線



7.4.6.2 RS-485 通信をおこなう場合の配線



7.4.7 RS-232C の配線

7.4.7.1 D-SUB9 ピン(RS-232C)の配線

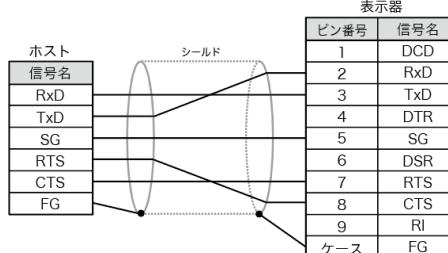


注意

- 下記の点に注意してシリアルケーブルを作成してください。
 - ・シールド線を使用してください。
 - ・シールド処理のできるコネクタフードを使用してください。
 - ・コネクタフードは横出しタイプの指定品を使用してください。他のコネクタフードは使用しないでください。
- シリアルケーブルを常設しない場合は本製品内部にケーブルを通す必要があるかもしれませんので、市販のクロスケーブル（インターリンクケーブル）を使用することができます。
- RS-232C コネクタのケーブルへの配線作業は、本製品内部に通線した後におこなってください。通線前に配線をしてしまうと、本製品内部に通すことはできません。
- 本製品内部に通線するときは、グロメット(上面用、背面用、内部用)のつけ忘れがないようにしてください。
- RS-232C 接続の場合は市販のクロスケーブル(インターリンクケーブル)も使用できますが、サイドカバーを取り付けることができません。

① RTS/CTS 制御をおこなう場合

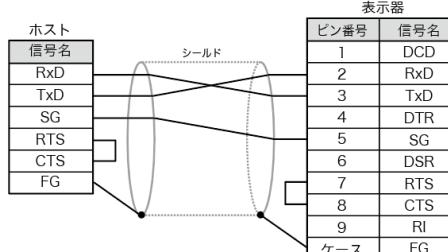
- ・本製品本体はD-SUB9 ピンオスです。接続するケーブルはメスになります。
- ・パソコン本体(PC/AT 互換機)はD-SUB9 ピンオスです。接続するケーブルはメスになります。



【RTS/CTS 制御をおこなう場合の配線図】

② RTS/CTS 制御をおこなわない場合

- ・本製品本体はD-SUB9 ピンオスです。接続するケーブルはメスになります。
- ・パソコン本体(PC/AT 互換機)はD-SUB9 ピンオスです。接続するケーブルはメスになります。



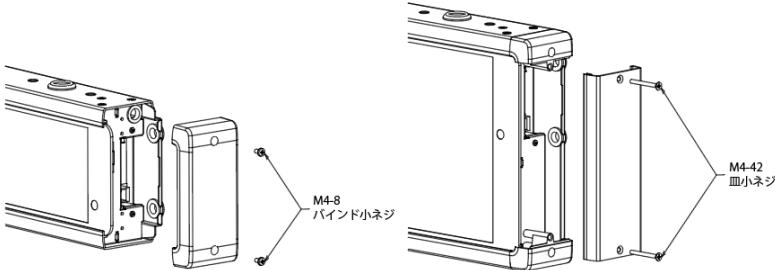
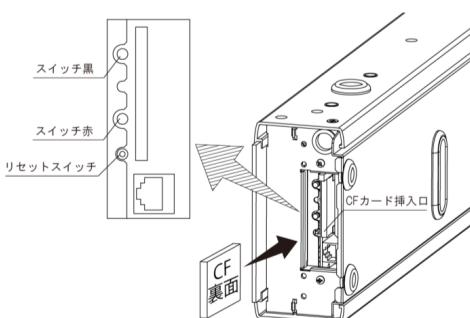
【RTS/CTS 制御をおこなわない場合の配線図】

8 使用方法

8.1 各スイッチの使用方法

8.1.1 CF カードスイッチ

8.1.1.1 CF カードの挿入手順

| CF カードを挿入する手順 | |
|---------------|--|
| 手順 1 | <p>■ 本製品右側面のフタを外します。 ・下図のように 2箇所のネジを外し、側面のフタを取ります。</p>  <p>[108/112型の場合] [212型の場合]</p> |
| 手順 2 | <p>■ CF カードの挿入方向に注意してカードを挿し込みます。 ・ダウンロードをおこなうときは、本製品が動作している最中にカードを挿入します。 ・アップロードをおこなうときは、本製品にカードを挿入していない状態でスイッチ黒を押しながら、リセットスイッチを押して離し「UPLOAD」が表示されたら、スイッチ黒を離し「UPLOAD」表示中(状態確認 LED が緑色で点滅中)にカードを挿入します。</p>  |

☞表示器データのダウンロードおよびアップロードの詳細は、WEB および VM-WinR に付属している本体総合マニュアルの第 6 章「データを転送する」に記載しています。



注意



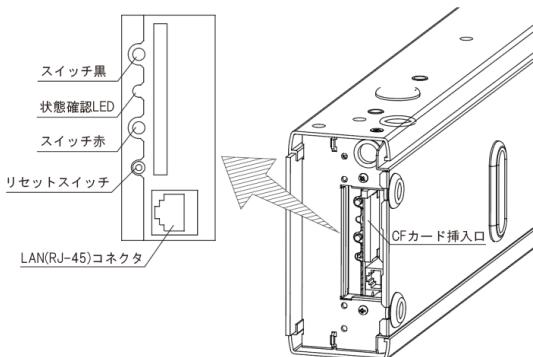
- CF カードを挿入する際は、挿入方向に注意してカードを差し込んでください。
- CF カードを挿入する際は、強い力で差し込まないようにしてください。

8.1.1.2 CF カードの取り出し手順

| CF カードを取り出す手順 | |
|---------------|--|
| 手順 1 | <ul style="list-style-type: none">■ CF カード挿入口の上にあるイジェクトボタンを押します<ul style="list-style-type: none">・ CF カード挿入口の上にあるイジェクトボタンを押すと、カードが出てきます。 |
| 手順 2 | <ul style="list-style-type: none">■ フタを取り付けます。<ul style="list-style-type: none">・ 本製品右側面のフタを元通りに取り付けます。 |

8.1.1.3 LED 状態の確認

- ・製品の右側面にある状態確認 LED の点灯状態で、CF カードに関する動作状態がわかります。



| LED 状態 | 内容 |
|--------|--------------------------|
| 無点灯 | CF カードが挿入されていません |
| 緑点灯 | 正常終了または差分転送を選択状態 |
| 赤点灯 | エラー発生 |
| 橙点灯 | プロジェクトまたはシステムのデータ上書き確認状態 |
| 緑点滅 | 全データダウンロード選択状態 |
| 橙点滅 | CF カードにアクセス中 |
| 緑と赤で点滅 | 実行/中止の選択またはシーンの上書き確認状態 |

8.1.1.4 エラーコード一覧

- ・CF カードで操作中に表示器に「NG**」と表示された場合、「**」部分はエラーコードになりますので下記のエラーコード表を参照のうえ、操作をやりなおしてください。

| エラー番号 | 内容 |
|-------|---------------------------------|
| 01 | CF カードが破損しています。 |
| 02 | 読み込みに失敗しました。 |
| 03 | 書き込みに失敗しました。 |
| 04 | CF カードがフォーマットされていないか形式が違います。 |
| 05 | CF カードの容量が不足しています。 |
| 06 | 転送条件を満たしていません。 |
| 07 | CF カードが挿入されていません。 |
| 08 | 本体が故障しています。当社技術・修理相談窓口にご連絡ください。 |

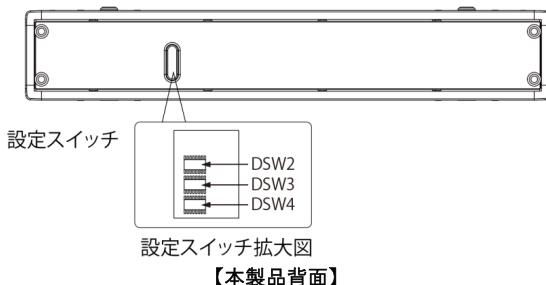
8.1.2 RS-422A/485 接続時の表示器の設定スイッチ

⚠ 注意

- 設定スイッチ 3(DSW3)、設定スイッチ 4(DSW4)は初期状態から変更しないでください。
- スイッチは、大きな力で無理な操作はしないでください。破損や変形により故障の原因となります。
- 設定スイッチを操作する際は、セラミックドライバなどの絶縁された工具を使用し、本製品の電源を落としたうえで操作してください。
- スイッチの操作は、小形ドライバの先など丸みのあるものをご使用ください。
ピンセットなど先端の鋭利なものによる操作は、操作部に傷をつけて操作ができなくなったり、接点部の接触に支障をきたす恐れがあります。また、シャープペンシルでの操作はしないでください。芯の粉や欠片がスイッチの動作を阻害する、スイッチ内部に入り込んで接触に支障をきたす、あるいは基板上に落下してパターンの短絡や絶縁などトラブルの原因になります。
- 先の細いピンセットなど（先端の鋭利なものは避けてください）で、操作方向に水平に滑らせるように操作してください。斜めに押し込むような操作や上から押しつける方向に過大な荷重を加えますと、操作部の折損・変形などにより操作に支障をきたす場合があります。

8.1.2.1 スイッチの設定方法

- ・本製品背面にある設定スイッチは以下のように設定してください。



8.1.2.2 設定スイッチの詳細

| 設定スイッチ | 設定内容 | スイッチの状態 | |
|----------------|---------------------------------|---|--|
| | | ON | OFF |
| 設定スイッチ 2(DSW2) | ID コード | 表示器の ID 番号を設定します ID 番号の詳細は、WEB および VM-WinR に付属している本体総合マニュアルの第 1 章「表示器の設定スイッチ」に記載しています。 | |
| | | 常時 OFF | |
| 初期設定 | ⑥ 未使用 | RS-232C | 通信速度：38400bps データ長：8 ビット ストップビット：1 ビット パリティ：偶数 画面入力ソフトウェアの設定に従う |
| | | RS-422A, RS-485 ※1 | 通信速度：9600bps データ長：8 ビット ストップビット：1 ビット パリティ：偶数 画面入力ソフトウェアのプロジェクト設定での通信設定内容に従う |
| 初期設定 | ⑧ メッセージ表示/ ダイレクト表示機能切替 ※2 | ダイレクト表示機能を使用 | メッセージ表示機能を使用 |
| | | 常時 OFF | |
| 初期設定 | ① 未使用 | 常時 OFF | |
| | | | |
| 初期設定 | ⑧ 未使用 | 設定スイッチ 4-⑤,4-⑦は常時 ON | |
| | | | |

※1 リンクターミナル時は、RS-485 のデータ長・ストップビット・パリティの各設定は設定スイッチ 2-⑦の状態によらず、常に固定とします。

※2 プロジェクト設定「プロジェクト情報」の「特殊タグ使用モード設定」でダイレクト表示モードに設定したときのみ有効になります。

通信モード(固定アドレス)時は、設定スイッチ 2-⑧は ON/OFF にかかわらずダイレクト表示機能に固定になります。

8.1.3 通信設定スイッチ(SW1)と終端設定スイッチ(SW2)の設定

⚠ 注意

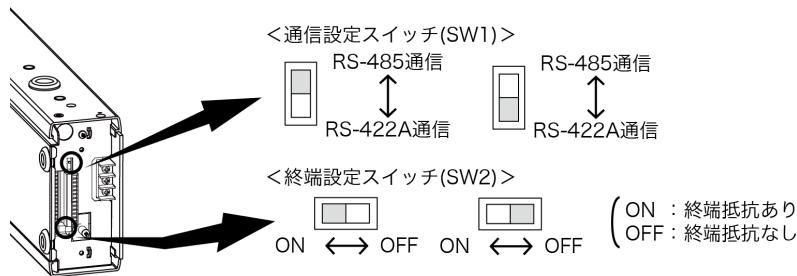


- 表示器を複数台接続する場合は、末端の表示器のみ終端設定スイッチ(SW2)を ON にしてください。
- RS-422A/485 通信でホストと表示器を 1:1 で接続する場合も、終端設定スイッチ(SW2)を ON にしてください。

8.1.3.1 スイッチの設定方法

- ・RS-422A または RS-485 で通信する場合は、通信設定スイッチ(SW1)を使用する通信側に合わせてください。

【背面から見て左側面】



| 設定スイッチ | スイッチの状態 | |
|----------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| | RS-485 通信 | RS-422A 通信 |
| 通信設定スイッチ (SW1) | RS-485通信 ↓ RS-422A通信 ※上側 | RS-485通信 ↓ RS-422A通信 ※下側 |
| 終端設定スイッチ (SW2) | 終端抵抗あり ON ↔ OFF ※左側 | 終端抵抗なし ON ↔ OFF ※右側 |

9 補修パーツ・オプション品

9.1 補修パーツ

- お客様にて修理、交換していただく場合の部品です。

| 品名 |
|----------|
| 端子台セット組立 |

9.2 オプション品

- 本製品には、下記のオプション品があります。

| 品名 | 型式 | 参考写真 |
|------------|---------|---|
| 画面入力ソフトウェア | VM-WinR |  |
| リンクターミナル | LT-01VM |  |
| 取付金具 | VM-01 |  |

製品保証規定

[Ver.2.1 (2018.07.27)]

この保証規定は、お客様がお買い上げ頂いた製品に関して、株式会社パトライト（以下、「弊社」といいます）が保証する内容について明記しています。

第1条（目的）

- 本規定は、弊社の製品（以下、「本製品」といいます）に関する保証責任の取扱いについて定めるものとします。
- お客様が本製品の使用を開始された時点で、お客様は本規定に同意して頂いたものとし、お客様と弊社との間で本規定の効力が有効に生ずるものとします。

第2条（保証対象および保証期間）

弊社は、お客様が本製品を購入された日から1年以内（以下、「保証期間」といいます）に本製品について以下の各号のいずれかに該当した場合（以下、「不良」といいます）、次条に定めた保証責任を負うものとします。

- ①本製品の外形または内部に本製品の用途または機能を損なう変質または変形が発生した場合
- ②本製品が製品仕様書に定められた性能を発揮しない場合

第3条（保証内容）

- 弊社は、本製品に不良が生じた場合（以下、「不良品」といいます）、自らの裁量によって無償による修理または代替品の提供のいずれかの措置を講じるものとします。
- 弊社が前項の措置を講じた場合、当該措置がなされた本製品の保証期間は、当初の不良品に関する保証期間と同一とします。
- 弊社が第1項に基づきお客様に対して本製品の代替品の提供を行った場合、弊社において回収致しました不良品の所有権は、弊社に帰属するものとします。
- 弊社は、第1項の代替品の提供に関して、製造中止等の諸事情により同一製品を提供できない場合には、自らの裁量により本製品と同等以上の性能を有する製品を提供できるものとします。

第5条（各号の部材は、保証の対象外とします。）

- ①消耗品（モータ・電球・ロータゴム・パッキン・Oリング・キセノン基板等）
- ②輸送中ににおける本製品の保護を目的とした梱包材料（製品梱包箱・ビニール袋・緩衝材等）

第4条（免責事項）

- 弊社は、以下の各号のいずれかに該当する場合、不良に関して前条に定める保証責任を負わないものとします。
 - ①本製品の輸送・運搬中に発生した衝撃・落下等の外部的要因により不良が発生した場合
 - ②本製品の製品仕様書・取扱説明書・取り扱い上の注意等に違反することにより不良が発生した場合
 - ③本製品が設置または接続された装置・機器・車両・船舶・建造物・ソフトウェア等による外的要因に起因して不良が発生した場合
 - ④お客様または第三者が事前に弊社の承諾を得ることなく本製品の分解・改造・補修・付属品取付等を行ったことにより不良が発生した場合
 - ⑤お客様または第三者の故意または過失により不良が発生した場合
 - ⑥お客様が第5条第3項の禁止事項に違反した結果、不良が発生した場合
 - ⑦火災・地震・台風・落雷等の天災地変または公害・塩害・静電気・停電・異常電圧等の外部的要因に起因して不良が発生した場合
 - ⑧本製品の販売時点における科学または技術に関する知見によっては、弊社が不良を予測することができない場合
 - ⑨通常使用に基づく本製品の自然消耗または経年劣化により不良が発生した場合
 - ⑩本製品が日本以外の国において使用されたことにより不良が発生した場合

以上

<ご注意>本製品保証規定は、2014年6月1日より適用されます。万が一、お客様がお買い上げ頂いた製品に弊社の旧製品保証規定が記載された取扱説明書が同封されていた場合であっても、本規定の効力のみが適用されますので、ご了承下さい。

株式会社パトライト

付録 ネットワークに接続する際にご使用ください

* IP アドレスの設定*

本製品は工場出荷時、下表のように初期設定されております。

| | | | | | | | |
|-------------|-----|---|-----|---|-----|---|-----|
| IP アドレス | 192 | . | 168 | . | 0 | . | 250 |
| サブネットマスク | 255 | . | 255 | . | 255 | . | 0 |
| デフォルトゲートウェイ | 0 | . | 0 | . | 0 | . | 0 |

本製品はDHCPによるIPアドレスの自動割当に対応していませんので、IPアドレスの設定は、設置工事前に必ず一台ずつおこなってください。

(IPアドレスの設定方法は本体総合マニュアルをご参照ください。)



注意



- 本製品に設定するIPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイの値は、接続するネットワークの管理者と必ず相談のうえ、ネットワークに接続されている他の機器と重複しないよう適切な値を設定してください。誤った内容を設定した場合、本製品が正常に動作しなかったり、ネットワークに障害をもたらす恐れがあります。ネットワークに障害などが発生した場合、当社では保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

工事メモ (設置工事の際のメモとしてご自由に使用ください)

取付場所

号機

| | | | | |
|-------------|---|---|---|---|
| IP アドレス | . | . | . | . |
| サブネットマスク | . | . | . | . |
| デフォルトゲートウェイ | . | . | . | . |

世界中に「安心・安全・楽楽」をお届けする

株式会社 パトライト

J2E

<https://www.patlite.co.jp>

〔受付〕平日9:00～17:00

平日12:00～13:00及び土・祝日・

社休日は留守番電話による対応

※ご注文・価格・商品内容等は、各営業所拠点または販売店にお問い合わせください。